

平成30年度

協働型学校評価に関する取り組み

協働型学校評価における到達目標

基本的な生活習慣を身に付け、生き生きと活動する児童の育成（4年目）

平成30年度の具体的な取り組みについて

【学校では】

- 家庭学習の時間に応じた宿題の量や内容を検討し、定着していきます
- 家庭学習時間が有意義に守られていることを、子どもたちの実態に応じ確認し、認めていきます
- 心地よい印象を与える挨拶や望ましい受け答えに関して、学年の発達段階に応じて具体的に指導していきます

協働型学校評価重点目標

【平成30年度に実現を目指す児童の具体的な姿】

◇一人一人が学年に応じた家庭学習の時間：

家庭学習の時間＝(学年＋1)×10分に取り組む

◇一人一人が心地よい挨拶と望ましい受け答えを意識する

【家庭では？】

- 子どもたちが集中して家庭学習に取り組む時間を確保できるように、環境を整えてください
- できていることは積極的に褒めてあげてください。
- 挨拶や言葉遣い、目上の人に対する受け答え等を日常生活の中で教えてあげてください

【地域では？】

- 顔見知り子どもたちとは、積極的に挨拶や会話を交わしてください
- 子どもたちの挨拶から心地よい印象を受けたときには、積極的に褒めてあげてください
- 地域の行事や市民センター等の催し物に参加した子どもたちと積極的に交流をもってください

平成30年度も、野村小学校児童の望ましい育成のために、保護者・地域・学校の三者が共通の目標を持ち、それぞれの立場で、『児童に対する働きかけを積み重ねていく』(改善活動を実施する)ことが大切であると考えています。

「地域の皆様とともに歩む野村小学校」のこの三者協働の着実な取り組みで、豊かな心でたくましく生活する児童の充実感に満ちた明るい笑顔がますます増えるようになって考えています。